

テーマ名 AI を用いた各種応用に対する AI システム開発

担当者 代表 C系 藪木登、E系 前原健二、海外展開促進 中村ふみ子

受入可能人数 5名～10名

実施予定場所 総合情報センター情報演習室B

実施内容

最近いろいろなところで、AI を用いたシステムが開発され、利用されている。本グループにおいては、いろいろな問題に対してAI を用いて解決することにチャレンジする。解決する課題に関しては、本授業開始後に相談の上決めていく。

昨年度までは、スーパーマーケットにおける「鍋料理の材料の販売数量をAI で予測するシステム」を作成してきた。そこで、スーパーマーケットのAI 関連の知識を持った社員の方々の協力により、スーパーや企業の内情、システム構築の考え方及び起業に関する方法等の指導を受けた。

演習計画

- (1) AI がなぜ世の中で必要とされているか？ どういった使い道があるのか？ を理解
- (2) 実際に自分の手でAI を作って動かす (Deep Fake、車の交通量カウント)
- (3) AI ベンチャー企業の社長が投資家から資金を獲得するためのプレゼンを参考にする
- (4) 解決する課題を相談の上決定し、課題解決の取り組みを開始する。
- (5) 作業分担してチームで仕事をする方法を学ぶ (プロジェクトマネジメント)
- (6) e-learning 教材を利用してAI プログラム作成やPython 言語のプログラムを学ぶ

学べる事

- ・python 言語、AI モデル作成の技能、プレゼン能力、プロジェクトマネジメント

(2) 車の交通量カウント



(4) 例：鍋食材の売れ行きと気温の関係

